

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第1区分
【発行日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【公表番号】特表2003-529903(P2003-529903A)
【公表日】平成15年10月7日(2003.10.7)
【出願番号】特願2001-573513(P2001-573513)
【国際特許分類】
H 0 1 J 23/40 (2006.01)
【FI】
H 0 1 J 23/40 B

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年4月5日(2011.4.5)
【誤訳訂正1】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】0006
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【0006】

この発明を使用することにより、静電容量結合により生じる電力損失を減少又は抑制することができる。分断プレートは高インピーダンスの構成部品であり、この発明の一つの好ましい実施例では、支柱上に取付けられたディスクを有し、その支柱は出力結合部材上に取付けられている。ディスクは出力結合部材の表面に面して溝を形成し、既存の静電容量 C_0 と直列に高インピーダンスを提供する。有利なことに、分断プレートの等価回路がインダクタンスと静電容量が並列で、マグネトロンの動作周波数において共振する共振回路を与えるように分断プレートの大きさは選択される。その時、これは静電容量結合により生じる電力損失を減少又は抑制する。分断プレートの等価回路がマグネトロンの動作周波数において共振する共振回路として動作することが好ましいが、共振周波数が動作周波数と異なる場合であっても利点があることが判明することもある。